

# 通信宝箱

平成19年  
12月号

## 今月のHOTニュース

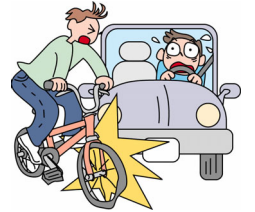
## 自転車は「軽車両」、被害者だけでなく加害者にも……

自転車は誰もが気軽に乗れる便利な乗り物です。しかしその気軽さの半面、交通ルールやマナーを守らず事故を起こすケースがしばしば見られます。交通ルールとマナーを守って、安全運転を心がけましょう。

今回は、自転車事故の主なパターンについてご紹介いたします。

### ■自転車事故のパターン

自転車は道路交通法では、自動車と同じ“車両”！車両として交通ルールを守らなければなりません。ルールを守らず事故を起こすと自転車側も責任を問われます。



内容	安全不確認 (急な進路変更)	一時不停止	信号無視	歩道上での歩行者との接触
事故の概要	道路の左端を走っていたAさんは、路上駐車の車を避けようと反射的に車道側にハンドルを切ったところ、後ろから来た乗用車が避けきれず、Aさんは前方に投げ出され大ケガを負いました。	信号のない見通しの悪い交差点に主婦Bさんが自転車で進入したところ、乗用車と出会い頭に衝突。Bさんは腕の骨を折る大ケガを負いました。	高校生C君は赤信号を無視して交差点に進入。そこに走ってきたトラックと出会い頭に衝突し頭に大きなケガを負いました。	女子大生Dさんが、自転車通行可の歩道上を自転車で行く中、おばあさんのバッグのひもがハンドルにからまり、転倒したおばあさんは、意識不明の重傷となりました。
事故の原因	第一原因は乗用車の注意義務違反ですが、Aさんが後方の安全をよく確認しないまま、急に進路変更したことが事故の大きな原因です。	乗用車の注意義務違反もありますが、Bさんが、一時停止の標識・標示を無視して、左右の安全確認をしないまま飛び出したことが大きな原因です。	トラックの前方不注意も事故の要因ではありますが、この場合、C君が赤信号を無視して交差点に進入したことが大きな原因です。	Dさんが、歩道の車道寄りもいつでも止まれる速さで歩いていなかったことが、大きな原因です。

### ■自転車の安全な乗り方10のポイント

1	からだに合った自転車に乗る	サドルにまたがったときに両足先が軽く地面につき、上体が少し前傾姿勢になるくらいに調節します。
2	道路の左端を一列に走る	車道の左端を、車間距離をとって一列で走るのが原則です。右側通行はやめましょう。
3	信号を正しく守る	歩行者用信号機の青信号の点滅は黄色信号と同じです。渡り始めないで、次の青信号になるまで待ちましょう。
4	大通りに出るとき、踏切を渡るときは必ず止まって安全確認を	一時停止標識のある場所や大通りに出るとき、踏切などでは、いつでも必ず止まって左右の安全確認をしましょう。
5	道路を並んで走らない	2台以上並んで走るとは禁止されています。ただし並進可の標識のある場所は2台まで並進できます。
6	手ばなし、傘さし、ゲタ・サンダルばき運転をしない	どれもバランスをくずしやすく、大変危険な運転行為です。絶対にやめましょう。
7	二人乗りはしない	自転車の二人乗りは、バランスをくずしやすく非常に危険です。 ※ただし、幼児を乗せる場合等は、例外的に認められています。
8	荷物はハンドルにかけないで、荷台にしっかり固定を	ハンドルに買い物袋を下げたりするのは危険です。荷物は荷台に載せ、しっかり固定しましょう。
9	「自転車及び歩行者専用道」ではゆっくり走る	「自転車及び歩行者専用」の標識のある歩道では、その車道寄りを徐行します。白線と自転車の標示がある場合はそこを徐行します。
10	夜間は必ずライトを点灯	無灯火は他から自転車が見えないので、非常に危険！夜間は必ずライトを点灯し、明るい目立つ色の服装や反射材の活用を心がけましょう。

#### \* 飲酒運転はやめましょう \*

お酒を飲んで運転することは、自転車でも非常に危険です。法律上でも自動車の場合と同じく、禁止されています。飲酒運転は絶対にやめましょう。



#### \* 左折する自動車に注意！ \*

左折する自動車に自転車巻き込まれる事故が数多く発生しています。自動車のドライバーから自転車が見えない(死角に入っている)場合が多いからです。交差点を直進するときは、左折車に十分注意しましょう。

#### \* 携帯電話の使用は非常に危険！ \*

携帯電話で通話やメールをしながら運転することは、注意力が散漫になって大変危険です。携帯電話を使用しながら運転することは絶対にやめましょう。

出典：社団法人日本損害保険協会「知っていますか？自転車の事故」

損害保険の詳細は裏面取扱代理店までお問い合わせください。

# 交通安全のポイント

## 通信宝箱

道路には乗用車やトラック、バス、二輪車、自転車などさまざまな車両が通行しています。こうした混合交通のなかで、安全な運転を確保するためには、それぞれの車両の運転特性や行動特性を理解しておくことが重要なポイントとなります。なかでも車体の大きい大型トラックやトレーラなどの大型車には特有の特性があり、事故を防止するためには、大型車の運転者だけでなく、乗用車や二輪車などの運転者もその特性をしっかり理解しておく必要があります。そこで今回は、大型トラックやトレーラなどの大型車の特性についてまとめてみました。

### ■大型車は内輪差が大きい

車体の長い大型車はホイールベース（前輪の車軸の中心から後輪の車軸の中心までの長さ）が長いので、乗用車に比べて内輪差が大きいという特徴があります。そのため左折時に二輪車や自転車を巻き込んだり接触するという事故が起こることがあります。また、トレーラが左折する場合は、図1のようにミラーの死角が大きくなって左側方がほとんど見えない状態になりますから、特に二輪車や自転車を利用する人は、左折しようとしている大型車の側方には接近し過ぎないように注意する必要があります。

### ■大型車は左折時には右にふくらむことがある

内輪差が大きい大型車は、狭い道路への左折時などに右側にふくらむことがあります。このようなとき、「大型車は右折するもの」と勘違いして、左側をすり抜けて先へ行こうとすると、左折してきた大型車と衝突することがあります（図2）。大型車が左の合図を出してから右にふくらんだ場合には、「大型車は左折するの」と考えて、左折が終わるのを待つ必要があります。また、大型車が片側1車線の道路へ左折しようとする場合には、対向車線にはみ出すことがありますから、その点にも十分な注意が必要です。

### ■大型車はオーバーハングが大きい

オーバーハングとは、車が曲がっていくときに、タイヤの軌跡の外側を車体の前後部が通ることをいいます。大型車はオーバーハング（後輪から車体後部までの間）が乗用車に比べて大きくなります。そのため右折時などに車体の後部が振れて、側方の車に接触することがありますから、右折しようとしている大型車の側方を進行するときは、十分な側方間隔をとるようにします。

### ■大型車の右折は時間がかかる

車体の長い大型車は右折を完了するまでの時間が長くなります。そのため交差点を直進する際に、大型車の右折を乗用車の右折と同じ感覚で判断して進行すると、大型車の後部へ衝突するおそれがあります。また、道路交通法施行令第22条において、四輪自動車の場合、積載物が車体の前後にはみ出してもよいのは、車体の長さの10分の1までと定められていますが、荷物を分割することができず積載制限を越えてしまう場合には、出発地の警察署長の許可を得て、荷物の見やすいところに屋間は0.3m四方以上の赤色の布、夜間は赤色の灯火または赤色の反射器をつけるなどの一定の条件を満たせば、それ以上にはみだして積載することができます。したがって、鋼材などを積載している大型車のなかには、積載物が車体の後部にかなりはみ出しているケースもありますから、その点にも注意しましょう。

### ■大型車の追越しにも時間がかかる

大型車の追越しにも時間がかかります。特にトレーラの場合は車長が15メートルを超えるケースも少なくありませんから、大型トラックの追越しよりもさらに時間がかかりますが、後方から見たときに前車がトラックかトレーラかの見分けがつかないことがあります。そのためトレーラをトラックだと勘違いして追越しをしようと、なかなか追いつけず非常に危険な状態になりかねません。したがって、車体の後面のトレーラを示す標示（図3）の有無をしっかりと確認して車種を見極めるとともに、カーブなど前方の見通しの悪い場所で対向車の有無が確認できないような場合や、直線路でも対向車が見えるときには大型車の追越しはしないようにします。

### ■カーブではトレーラの車体の一部が対向車線へはみ出すことがある

大型車は車幅も広いので、片側1車線のカーブがきつい場所などでは車体の一部が対向車線へはみ出すことがあります。特にトレーラの場合は、車体の一部が対向車線へはみ出すおそれがありますから、できるだけセンターラインから離れた位置を走行するようにします。

図1

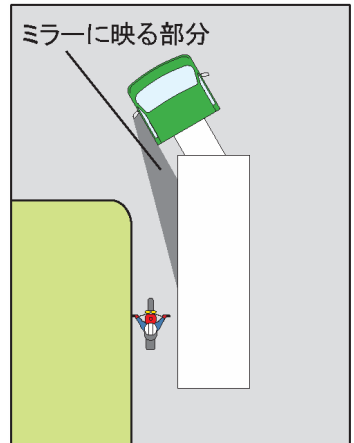


図2

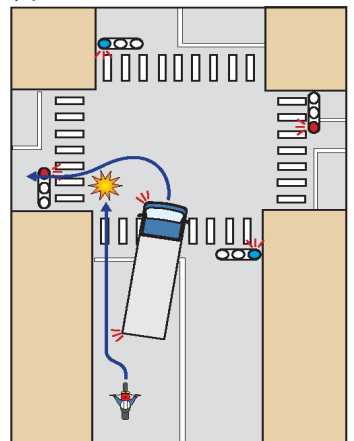
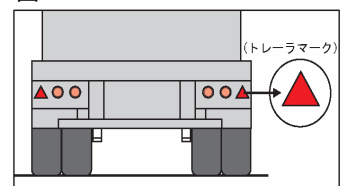


図3



12月は忘年会のシーズンでもあり、お酒を飲む機会が増えるときですが、飲酒運転は社会的犯罪であり、いかなる理由があろうと決して許されるものではありません。お酒を飲んだら絶対に車を運転しないということを改めて誓ってください。また、次のことも必ず守ってください。

★飲酒運転の車には同乗しない。

★飲酒運転を行うおそれがある人にお酒をすすめたり車両を提供しない。

★飲酒運転をしようとしている人がいたら制止する。

